

2014年度鳥羽・志摩中学校新人体育大会ソフトボールの部要項

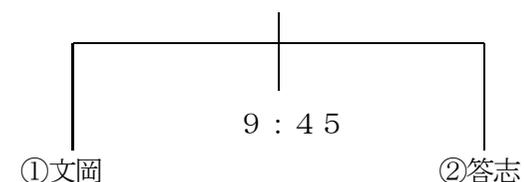
- 1 日程 9月27日(土)
 会場準備 8:00 監督・審判会議 8:45
 開会式 9:00 試合開始 9:45
 *雨・霧等による延期等の判断は朝6時に中体連本部と専門部長で行い関係者に連絡する。
 予備日・・・28日(日), 10月4日(土), 5日(日)
- 2 会場 阿児ふるさと公園多目的広場
- 3 責任者 *競技責任者および会場責任者:岡山(文岡中)
 *会場準備:各中学校ソフトボール部顧問1名・審判で行う。
 *ベース・ラインカー・石灰・スコアボード他:山本(文岡中)
 *熱中症対策、審判飲料水:小瀧(答志中)
 *会計:岡山(文岡中)
 *審判依頼・連絡:岡山(文岡中)
- 4 ルール 本大会規定及び2014年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。
- 5 大会規定
- ① 競技方法はトーナメント方式とする。
 - ② ベンチ入り選手は25名以内とし、ベンチは若番を1塁側とする。
 - ③ 選手は1～99の背番号のついたユニフォームを着用する。ただし、やむを得ない場合は背番号のついた体操着でもよい。主将は10番、監督は30番、副顧問(コーチ)は31番、32番をつける。背番号がない場合のベンチ入りは認められない。
 - ④ 関係者のベンチ入りは3名までとする。できるかぎりユニフォームを着用する。外部指導者については、学校長が認め、登録をした場合に限る。ただし2名までとする。
 - ⑤ 得点差によるコールドゲームは、3回以降15点差、4回以降10点、5回以降7点差以上のとき適用する。降雨の時は5回終了時点で試合成立。それ以前の場合は再試合とし、その判断は当該試合の専門部及び審判団・大会長で行う。
 - ⑥ 7回終了後同点の場合は、延長戦なしで8回からタイブレークを行う。(最大12回までとする)
 - ⑦ シートノックは、後攻側から始めて5分以内とする。
 - ⑧ 打者、走者、次打者、コーチャーはヘルメットを着用する。
 - ⑨ 捕手はスロートガードつきマスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを着用する。競技場内での投球練習においても、ヘルメット、マスクを着用する。
 - ⑩ 試合中は、ベンチ入り選手以外のグラウンド立ち入りは認めない。
 - ⑪ 試合中は、ベンチよりバックネット付近(後方も含む)での応援を禁止。

- ⑫ 当該校関係者はバックネット裏への立ち入り禁止。
- ⑬ 使用球はマルケン3号とする。(各校新品2球準備)
- ⑭ グラウンドルールは監督・審判会議で決定する。
- ⑮ 大会運営においては、教育的配慮を最優先する。
- ⑯ サスペンデッドゲームを採用する。

6 その他

- ① 表彰は優勝のみとする。
- ② 選手宣誓は、前年度優勝校の答志中学校主将。同校は優勝旗を持参のこと。
- ③ 優勝校は協会主催の県大会への出場権を得る。
- ④ シートノック終了後、両チームでグラウンド整備を行う。
- ⑤ 事前に健康チェックをしておく。
- ⑥ ゴミは各自持ち帰り、処理の徹底をする。
- ⑦ 差し入れは、事前に断る。いただくことがあった場合は、学校に戻ってから飲食する。
- ⑧ 急病やけがは、救護の先生の手をかりて応急処置を施すが、連絡・移送については当該校顧問・引率者が責任を持って行う。
- ⑨ 雷鳴が鳴ったら、活動は中断する。(避難場所は、橋の下・倉庫等)
再開は最後の雷鳴から20分後とする。
- ⑩ 津波等の避難場所は、文岡中学校舎とする。

7 組み合わせ



- 8 審判 鳥羽・志摩ソフトボール協会審判部に(4名以上で)お願いする。

9 開閉会式

開会式	閉会式
整列	整列
1 優勝旗返還	1 表彰
2 大会長挨拶	2 大会長挨拶
3 審判長注意	3 審判長講評
4 選手宣誓	4 連絡(あれば)
5 諸注意	解散
解散	

